

No 43
30 Apr. 2014

日本・パプアニューギニア協会会報

ごらくちよう

Bird of Paradise

発行 NPO法人 日本・パプアニューギニア協会

発行日 発行日 平成26年4月30日

編集 NPO法人 日本・パプアニューギニア協会広報部 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-6-10 大橋ビル1階 コスモメディア(株)内 TEL03-5604-8611 FAX03-5604-8613

「第4回 TokTok会 Tok Pisinという言葉」に参加して

日本・パプアニューギニア協会 法人会員 協和海運株式会社 多奈田 宙矢



はじめまして。協和海運株式会社 多奈田(たなだ)と申します。平成26年2月12日、立命館大学東京キャンパスにて、西江雅之先生による講義が行われましたのでご報告申し上げます。

西江先生は、現在アジア・アフリカ図書館の館長をされていて、文化人類学・言語学・現代音楽の研究等、さまざまな分野においてご活躍されている方です。

当日は、西江先生の講義にも熱が入り、私含め聴講されていた皆様も時間を忘れ、気づけば予定よりも三十分のオーバー。それでも、西江先生は話し足りない、参加者ももう少し聞きたい、という状況でしたが、会場の時間の関係で、渋々終了しました。その後、場所を変え懇親会が開かれました。参加者と西江先生が入り混じり、おいしい食事とお酒を頂きながら、それぞれ様々なお話をされました。簡単に講義の内容ですが…

現在パプアニューギニアでは、英語の他に、トクピシンと

いう言葉が公用語の一つとして使われているそうです。このトクピシンという言葉の発祥は、太平洋諸島の労働者が、クイーンズランド等の島々に奴隷として送り込まれたところに始まります。当時言葉の通じない労働者同士や、労働者と統治者がなんとかコミュニケーションを図っていた中で、英語をベースとした新たな言葉が自然と作られていきました。そして時代とともにさまざまな言語の要素が取り入れられていき、ニューギニアがドイツ統治下に置かれた頃、トクピシンとして確立されたそうです。

最初は一部の地域でのみ使われていたトクピシンですが、やがてニューギニア全土に広まっていき、現在では国会での使用が認められるまでになったとのことでした。

講義の中ではその他にも、このトクピシンがニューギニア国内に広まっていく過程、またそこから発展して世界のさまざまな言語、価値観の違いについて等、非常に多岐にわたった内容のお話を頂きました。

近年、パプアニューギニアは経済的な面でも非常に注目されていて、日本からも比較的多くの企業が進出していると聞きます。そんな中、現地の



人々とうまくコミュニケーションをとるためには、このトクピシンが一つの重要な鍵となるかもしれませんね。

ところで私、実は学生時代に、西江先生ともゆかりのある東京外国語大学外国語学部日本語科に所属しておりました。大学では言語に関わるさまざまな講義を受けており



ましたが、まさか社会人になってから西江先生の講義を拝聴することができるとは、夢にも思っておりませんでした。このような貴重な機会を頂き

まして、TOKTOK会関係者の皆様、西江先生、本当にありがとうございました。次回のTOKTOK会では、どういった方の、どのようなお話が拝聴できるか、非常に楽しみにしております。

まだ一度も参加されたことの無い方は是非、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

「南太平洋の開発と生態系・生物多様性の保護」

唐 沢 敬 (当協会 副会長)

本年2月8日(土)、PNGを含む「南太平洋島嶼国の開発と生態系保全」に関するワークショップが明治大学で開催されました。これは南太平洋生態系保全学術懇談会による標記テーマのプロジェクトが終了したのを受け、日本PNG協会・駐日PNG大使館・コスモ・エコカード基金後援の下で実施されたものです。記録的な大雪の中、各分野の専門家、関係団体代表、駐日フィジー大使等60余名が集まり、熱心な議論を展開しました。

南太平洋島嶼国が豊かな自然と生物多様性を有し、世界有数の自然の宝庫であることは、今日、広く知られています。とくに、PNGは国土、人口共に大きく、高山植物約2万種、蘭3千種、鳥類760種、サンゴ800種、魚類600種、哺乳類250種等からなる独特の生態系は同国経済と国民生活を支え、人々の精神的拠り所ともなってきました。

近年、グローバル化の加速の下、貿易投資も拡大し、多くの便益とともに人々の生活も変わりました。天然ガスの開発

や農林水産振興に関わるプロジェクトが推進されるに伴い、国家収入も増えました。そのお陰もあって、昨年、PNGでは地方政府への予算の大幅増額、治安維持のための警察官400人増員とタスクフォースの設置、基礎教育12年生までの授業料無料化等の措置が実行に移されました。経済発展の成果と言えます。

しかし、OK Tedi 鉱山開発等無秩序な資源開発が自然や生態系を破壊し、地域住民の生活と健康に甚大な被害を与えてきたことも事実です。最近では、中国等新興諸国企業の進出も増え、経済主体の多様化が進む中、地域住民との紛争も増えています。PNGや南太平洋の国々は、いま、グローバル化の波に洗われながら、開発と環境・生態系保全の同時遂行という難しい舵取りを迫られています。私たちは、こうした状況を熟知し、高度の技術・知識・経験・ノウハウを駆使し、協力と支援の輪を広げねばなりません。



講演者：ジュリア コロヴォウ フィジー共和国大使館参事官
(Julia W. Korovou Counsellor, Embassy of the Republic of Fiji)



山下
日本PNG協会会長



濱口正道
コスモ石油(株)
コーポレート
コミュニケーション部長



長
日本PNG協会理事

パプアニューギニア名誉領事就任 および 館開設披露パーティーの開催

本年2月28日(金)にホテルニューオータニにおいて、井原信近氏の名誉領事ご就任、在取手パプアニューギニア名誉領事館の開設の記念レセプションが盛大に開催されました。

ドウサバ大使、児玉外務省大洋州課長、村田吉隆前日本パプアニューギニア友好議員連盟会長より井原氏のご就任へのお祝いのお言葉がございました。

また、4月4日(金)には、取手の名誉領事館において、藤井取手市長、ドウサバ大使のご参加のもと、開館のお披露目式がございました。

井原名誉領事からは、日本とパプアニューギニアとの間に農業を中心とした交流を図っていききたいとお言葉がございました。

尚、在取手パプアニューギニア名領事館の詳細は次の通りです。

Honorary Consulate of Papua New Guinea in Toride

〒302-0034

茨城県取手市戸頭1142-1 NCSビル6階

※電話：0297-78-7002

※名誉領事：井原信近氏

※管轄地域：関東(除く東京都)



東部ニューギニア戦友遺族会 永代神楽祭

本年4月5日(土)に、東部ニューギニア戦友遺族会主催の永代神楽祭が靖国神社本殿にて執り行われました。戦友ご遺族、そしてご関係者あわせておよそ100名の参加がございました。

神楽祭の前には、東部ニューギニア戦友遺族会の年次



総会も開催され、当協会からは、山下勝男会長、中村理事、島田事務局長(遺族)が参加させていただきました。

本年99歳になられる堀江正夫会長(当協会顧問)からは、遺骨収集事業の推進に向けての思いが語られ、戦友遺族会より東部ニューギニアへ事前調査で派遣された方々の現地報告もなされました。

当協会は、ビジネス、学術、観光、戦友遺族の方々などあらゆる方面からのご参加によって両国関係の促進にお役に立つように努めております。

日本とPNGの友好関係の礎として戦後より長年努力されてこられましたご戦友、ご遺族の皆様に敬意を表したいと存じます。

日本・パプアニューギニア協会
法人会員紹介 第35回

「みなさん、こんにちは」

NYKバルク・プロジェクト
貨物輸送(株)です。

NYK BULK & PROJECTS CARRIERS LTD.

〒100-0005 東京都千代田区
丸の内二丁目3番2号 郵船ビル
<http://www.nbpc.co.jp>

NYKバルク・プロジェクト貨物輸送(株)は日本郵船(株)(NYK)の完全子会社としてNYKグループの中でも海上輸送に特化しており、プラント・モジュール貨物、重量物、鋼材、バルク貨物と多岐に渡る貨物を世界中に輸送しております。

当社は2013年10月1日に、日之出郵船(株)とNYKグローバルバルク(株)が合併し誕生した会社です。45隻の重量物・多目的船、2隻のモジュール船、110隻のバルク船と総計157隻、総重量5,672,425DWTにも昇る船隊を活用し、すべての貨物の輸送に対応することを通じて工業や農業、エネルギー供給、都市開発など様々な産業の発展に貢献し、世界中の人々の生活を豊かにすることを目標に誇りを持って事業に取り組ん

でいます。

また当社は不定期のプラント・重量物輸送及びモジュール貨物輸送サービスに加え従来のセミライナーサービス、バルク貨物輸送に従事しておりますが、大切な荷物を預かり世界の海を舞台にする外航海運業にとって、船の安全運航と海洋環境の保護はサービスの基本です。

パプアニューギニアに関し当社は、CHIYODA-JGC JOINT VENTURE(千代田化工建設(株)と日揮(株)とのジョイントベンチャー)とPNG LNG PLANT PROJECTの海上輸送契約を締結し、2011年9月から2012年11月までアジア各地からポートモレスビー、モトケア向けに数多くの配船を担当いたしました。積港は日本(横浜、神戸)、韓国(馬山、蔚山、釜山)、中国(上海、煙台、蓬萊、天津新港)、タイ(レムチャバン、マプタプット)、シンガ

ポール、マレーシア(ポートケラン)、インドネシア(チワンダン)、オーストラリア(フリーマントル、ヘンダーソン)であり、多くの積港に対応しました。貨物は、鉄骨、鋼管、各種一般貨物、パッケージサブステーション、諸々塔槽類・容器、熱交換器等と多岐に亘り、中には単体の重量が520MTにもなる重量物も含まれていました。また、当社海技者による事前の技術的検討、荷役現場での立ち合い・技術サポートを行うことにより、安全に荷役・輸送を行うことを目指しました。本プロジェクトの建設に貢献できたことを誇りに思っております。

今後も、本プロジェクト含め多くのプロジェクト貨物を輸送してきた経験と100年以上にも及ぶ多目的重量物船社として培ったノウハウを生かし、パプアニューギニアを始めとする世界各国の更なる発展に寄与していく所存です。



多目的重量物船 8,700~30,000DWT、Max Crane Capacity 450 nt

バルク船 ハンディバルクキャリア 20,000~37,000DWT、ハンディマックス 45,000 - more than 55,000DWT

事務局からのお知らせ

年次総会・理事会の開催

例年通り6月中旬に開催予定で準備をすすめています。1年1回の大事な会合です、多数の会員の皆様の出席をお待ちしています。具体的な日時・場所が決定次第ご案内しますので、御予定の程よろしく申し上げます。

第5回 TOK TOK会の開催

既にご案内のとおり、5月16日(金)18:30より第5回 TOKTOK会(PNGを語ろう会)を開催いたします。是非とも、みなさん奮ってご参加くださいませ。

今回の篠原講師は、ラバウルに30年間滞在され、1000人以上のパプアニューギニアの方々とお仕事をされたご経験

をお持ちです。

詳細は協会HPにも掲載されています。

編集後記

協会では、メルマガの拡充などを通じて、より多くの情報を皆様にお届けできるよう努めております。どうぞ、皆様からもPNGにかかわることでしたら、どんどん情報をお伝えください。

メルマガ等で広く会員の皆様にお知らせしたいと思っております。

日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。
会員数 2014年3月31日現在 *法人会員/35 *個人会員/129

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的とし、文化、学術、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

申し込み方法/郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。
年会費/個人会員 5,000円 法人会員 50,000円 学生 1,000円 PNG人 1000円
会費受付/郵便振替口座をご利用ください。

口座記号/番号 00140-2-277582
加入者名/トクヒ)ニホン パプアニューギニアキョウカイ
問い合わせ先/日本・パプアニューギニア協会 事務局
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-6-10 大橋ビル1階 コスモメディア(株)内
電話 03-5604-8611 FAX 03-5604-8613 E-mail: info@jpng.or.jp
URL <http://www.jpng.or.jp>